**市政トピックス**

**●「地熱ファン」の小説家 真山仁氏が鳴子温泉で地熱を熱く語る**

　10月7日、鳴子公民館を会場に「地熱講演会in鳴子温泉」が開催されました。

　講師に、「ハゲタカ」などの作品で知られる小説家の真山仁氏を迎え、「地熱が日本を救う」と題して、地熱にまつわる政治、経済、社会、地方再生について語ってくれました。

　真山氏は、地熱発電を題材にした小説「マグマ」を執筆する際の取材で、地熱発電を知ることとなりました。気候や気象条件に左右されず、地球が自ら発する無限に近い地熱を利用し、24時間365日発電できる地熱発電こそが、エネルギー資源の乏しい日本に最もふさわしいと実感し、地熱ファンになったそうです。

　鳴子温泉地域で地熱を利用する取り組みについて「観光資源など、持っているものが豊かであればあるほど危機感は持てないもの。地方の自立が求められる時代にあって、地域を見つめ直し、自分たちが持っているものを武器にして産業を生み出していくためには、規制や利害の調整も必要だが、できない理由を探すのでなく、できることを探してほしい」と、熱いエールを送ってくれました。

写真1：地熱について語る真山仁氏

写真2：多くの皆さんが耳を傾けました

**●おおさきでつくられた優れた技術や製品を一堂に展示**

　10月14日・15日、おおさき産業フェア2016が古川総合体育館で開催されました。

　当日は、企業や学校、研究機関など約60の団体が参加し、大崎地域で生まれた優秀な技術や製品が展示されました。授業で訪れたという高校生たちは、普段はなかなか見ることができない地元企業の技術や製品の説明に聞き入る姿もありました。

　LED電球を使用した工作コーナーに参加した子どもたちは、説明書と部品を見比べたり、親に助言をもらいながら、少しずつ完成に近づく工程に「ものづくり」の楽しさを感じているようでした。

　市では、さまざまな連携を通して生まれた、大崎地域の優れた技術や製品を広く発信し、持続可能な産業都市の形成を目指します。

写真1：配線を確認しながら、ひとつひとつ組み上げる

写真2：製品の紹介や情報交換が行われる会場内

**●2016　10月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 3日 | ささ結新米試食会中心市街地循環便出発式 |
| 4日 | 大崎市誕生10周年記念事業「演劇『泥かぶら』公演」（～6日） |
| 7日 | 地熱講演会in鳴子温泉 |
| 8日 | 大崎市誕生10周年記念事業「冷泉家時雨亭文庫 冷泉家和歌披講」 |
| 10日 | 田尻ふれあい駅伝大会 |
| 12日 | 大崎市誕生10周年記念事業「コメディー・クラウン・サーカス公演」（～13日） |
| 14日 | 健康と福祉のつどい（～16日） |
| 15日 | 産業フェア（～16日）古川秋まつり（～16日）鬼首ツーデーマーチ（～16日）第8回フランク永井歌コンクール（～16日） |
| 16日 | 新米まつり古川軽トラ我楽多市場 |
| 17日 | 国道347号「絆」交流促進協議会災害時相互応援協定締結（加美町・山形県尾花沢市・山形県大石田町） |
| 21日 | 第3回総合計画審議会 |
| 22日 | 第二次大崎市総合計画等市民説明懇談会（～23日・30日） |
| 23日 | 大崎市民統一清掃鹿島台駅グランドオープン |
| 24日 | 大崎市誕生10周年記念事業「仙台フィルハーモニー管弦楽団公演」（～25日） |

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほのおいしい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント・・・。

そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**古川発　まつりに花を添える、和と洋の装い**

10月16日の古川秋まつりに合わせ、大崎市誕生10周年記念先陣・本陣・後陳大名行列とハロウィンパレードが行われました。パレードに参加した子どもたちは、魔法使いやお姫様、ゲームキャラクターなど、思い思いの仮装を楽しんでいました。また、いつもは隔年で参加する、稲葉先陣大名行列と中里後陳大名行列が同時に見られるとあって、それぞれの違いを楽しめる、特別な日となりました。

写真：魔法使いや人気キャラクターが街へ繰り出した！

**鳴子温泉発　リニューアルこけしがお出迎え**

　9月30日、新川渡大橋の欄干に設置されていた、こけしのお色直しが行われました。

　等身大のこけしに絵付けを行ったのは、こけし工人の精鋭たち。普段手にするこけしとの、大きさの違いに苦労しながらも、端正な顔立ちのこけしや可愛らしく微笑むこけしなど、それぞれ特徴のあるこけしに仕上がりました。

　秋の行楽シーズンに、新しく着飾った4体のこけしたちが、鳴子温泉郷への皆さんの訪れをお出迎えします。

写真1：線の細部に至るまで、慎重に作業を進めていきます

写真2：完成したこけしが来訪者を最初に出迎えます

**田尻発　田尻の牛が県内最優秀に選ばれ、名誉賞を受賞**

　9月9日・10日に開催された、家畜の品評会「平成28年度宮城県総合畜産共進会」で、田尻地域の氏家邦佳さんの育てた牛が、最高賞である名誉賞を受賞しました。

　平成29年9月7日から11日には、5年に1度開催される全国規模の品評会「第11回全国和牛能力共進会」が、仙台市夢メッセを会場に宮城県で初めて開催されます。宮城県の代表として、仙台牛の一大産地である大崎市の、生産者の活躍が大いに期待されています。

写真：名誉賞の牛「さくらの5」と氏家さん